



平成 19 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名：株式会社 レッグス
代表者名：代表取締役社長 内川 淳一郎
(J A S D A Q ・ コード番号 4286)
問合せ先：執行役員マネジメント部長 古瀬 康弘
電 話：03-3408-3090

平成 19 年 12 月期中間期（連結・単体）および通期（連結・単体） 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 2 月 19 日の決算発表時に公表いたしました平成 19 年 12 月期中間期（連結・単体）および通期（連結・単体）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 12 月期中間連結業績予想数値の修正

(1) 中間期の業績予想（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日）の修正 (単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	4,299	291	140
今回修正予想 (B)	3,850	326	100
増減額 (B-A)	△449	35	△40
増減率 (%) ((B-A)/A)	△10.4	12.0	△28.6
(ご参考) 前期実績 (平成18年12月期中間)	3,753	272	△93

(2) 修正の理由

当中間連結会計期間においては、前年同期比で増収は確保したものの、当社グループの戦略クライアントである飲料クライアント向けにおいて、当初の見込み案件を失注したこと等により、売上高については前回発表予想を下回りましたが、経常利益については、連結子会社で展開しております飲料・通信クライアントを含む戦略クライアント向けを中心に高付加価値案件が増加したことにより粗利益率が上昇し、それに伴い、前回発表予想を上回りました。但し、中間純利益につきましては、役員退職慰労引当金に係る繰延税金資産の税効果を見直した結果、税金費用が増加し、当初の予想に対し業績が下回る見込みとなりました。

これらの理由により、当中間期の連結業績予想数値としては、売上高は 3,850 百万円（前回予想比 10.4%減）、経常利益は 326 百万円（前回予想比 12.0%増）、中間純利益は 100 百万円（前回予想比 28.6%減）を予想しております。

2. 平成 19 年 12 月期中間単体業績予想数値の修正

(1) 中間期の業績予想（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日）の修正 （単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	3,132	184	105
今回修正予想（B）	2,810	169	30
増減額（B-A）	△322	△15	△75
増減率（%）（（B-A）/A）	△10.3	△8.2	△71.4
（ご参考）前期実績（平成18年12月期中間）	2,743	163	△126

(2) 修正の理由

当社グループの戦略クライアントである飲料クライアント向けにおいて、当初の見込み案件を失注したこと等により、売上高、経常利益とも当初の予想に対し業績が下回る見込みとなりました。加えて、中間純利益につきましては、中間連結業績予想数値の修正の理由と同様に、役員退職慰労引当金に係る繰延税金資産の税効果を見直した結果、税金費用が増加し、当初の予想に対し業績が下回る見込みとなりました。

これらの理由により、売上高は 2,810 百万円（前回予想比 10.3%減）、経常利益は 169 百万円（前回予想比 8.2%減）、中間純利益は 30 百万円（前回予想比 71.4%減）を予想しております。

3. 平成 19 年 12 月期連結業績予想数値の修正

(1) 通期の業績予想（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）の修正 （単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	8,542	577	299
今回修正予想（B）	8,542	577	215
増減額（B-A）	-	-	△84
増減率（%）（（B-A）/A）	-	-	△28.1
（ご参考）前期実績（平成18年12月期）	7,328	545	134

(2) 修正の理由

売上高、経常利益は、不確定要素が多いため現時点での変更はおこなっておりませんが、当期純利益につきましては、今回、役員退職慰労引当金に係る繰延税金資産の税効果の見直しを図っておりますので、当該事象を業績予想に見込んだ結果、通期の連結業績予想数値としては、売上高は8,542百万円、経常利益は577百万円、当期純利益は215百万円（前回予想比28.1%減）を予想しております。

4. 平成19年12月期単体業績予想数値の修正

(1) 通期の業績予想（平成19年1月1日～平成19年12月31日）の修正 (単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	6,169	316	180
今回修正予想 (B)	6,169	316	98
増減額 (B-A)	-	-	△82
増減率 (%) ((B-A)/A)	-	-	△45.6
(ご参考) 前期実績 (平成18年12月期)	5,390	285	11

(2) 修正の理由

通期連結業績予想数値の修正と同様に、売上高、経常利益は、不確定要素が多いため現時点での変更はおこなっておりませんが、当期純利益につきましては、今回、役員退職慰労引当金に係る繰延税金資産の税効果の見直しを図っておりますので、当該事象を業績予想に見込んだ結果、通期の単体業績予想数値としては、売上高は6,169百万円、経常利益は316百万円、当期純利益は98百万円（前回予想比45.6%減）を予想しております。

※業績予想の利用に関する注意事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上